

■（公社）日本地すべり学会関東支部 令和6年度現地検討会 開催報告 「上信越自動車道 北野牧工事及び蓬平工事」

（公社）日本地すべり学会関東支部

1. 実施概要

本年度は、東日本高速道路株式会社関東支社 長野工事事務所のご協力を得て「上信越自動車道 北野牧工事及び蓬平工事」を対象とした現地検討会を実施しましたのでご報告いたします。

今回の現地検討会は、上信越自動車道の北野牧工事と蓬平工事において落石対策や地すべり対策等の施工現場を見学し、地すべり等対策に対する理解を深めることを目的に開催いたしました。

- (1) 開催日：令和6年11月8日（金）
- (2) 開催場所：群馬県松井田町北野牧（北野牧工事）
長野県埴科郡坂城町（蓬平工事）
- (3) 主催：（公社）日本地すべり学会 関東支部
- (4) 協力：東日本高速道路株式会社
関東支社 長野工事事務所
- (5) 参加人数：17名

2. 検討会の内容

東日本高速道路株式会社関東支社 長野工事事務所の金子副所長様の案内により、北野牧工事及び蓬平工事の現場を案内いただき、施工現場を見学させていただきました。

北野牧工事（群馬県松井田町北野牧）は、上信越自動車道北野牧トンネル西口直上の断崖絶壁（平均傾斜約70度、比高約70m）において、不安定な亀裂岩盤に対して掘削工および落石対策工等の対策を実施しています。この工事現場は、断崖絶壁に作られた大規模な足場が特徴的で上部斜面では削岩機や割岩機など複数の重機が連携して岩盤の掘削を行っていました。掘削した岩塊はダンプカーに乗せられ、背後に作られたインクラインにより下方の道路までおろされて搬出されるとのことでした。

蓬平工事（長野県埴科郡坂城町）は切土のり面の地すべり変状及び既設グラウンドアンカーの経年劣化対策として、本線をボックスカルバート化し、埋め戻しによる押え盛土工等の対策が実施されています。

今回の見学では本線上に施工されるボックスカルバートの施工完了間近で、頂板部の躯体の施工状況が見学できました。カルバート化の完了後は、押え盛土の施工に移るとのことでした。

各施工現場見学の終わりには工事に対する質疑の時間が設けられ、参加者から多くの質問がありました。金子副所長様より質問の回答に加え、工事に関する課題や解決方法についてもご教授いただきました。今回の現地検討会では、大規模な落石対策や地すべり対策の施工現場を見学することができ、大変貴重な経験ができたと考えております。

3. おわりに

関東支部では、今後も現場に密着した講習会や現地検討会に加え、学生・若手技術者の育成をテーマとした活動を実施していく予定です。

最後に、現地検討会の開催にあたり、御協力を頂いた東日本高速道路株式会社関東支社 長野工事事務所の皆様、また、現場で案内をフォローいただきました施工会社の皆様には大変お世話になりました。ここに記して、厚く御礼申し上げます。



写真-1 金子様による工事概要説明



写真-2 北野牧工事 掘削工実施状況



写真-3 北野牧工事現場にて集合写真



写真-4 蓬平工事現場見学状況

（関東支部幹事会 松田昌之）